

郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI実績一覧表（平成29年度）

基本目標	方針	重要業績評価指標(KPI)	区分	平成27年度	平成29年度 (H28年度実績) ※累計はH27,28年度累計	平成31年度	成果・評価	担当課	総合戦略 記載頁
1. 郡上市に仕事をつくり、安定した雇用を創出する	1) 就職者の確保と雇用対策の充実	新規就業者数(新規就職・就業者 者激励会対象者)	目標値	—	—	累計600人	郡上雇用対策協議会が市内高等学校の就職希望生徒を対象とした未来塾を開講し、市内の産業、企業の紹介などを行った。また、UIターンを促進するため、大学等への訪問や、大学等と市内企業との情報交換会の開催を行った。その中で、市内高校生の市内就職割合は、5割以上を維持している。	商工課	24
			現状値	97人(平均) (H22～H26年度)	277人	—			
		雇用拡大支援交付金申請 対象者数(新卒者)	目標値	—	—	累計100人	新卒者の採用件数が増加傾向にあり、企業の雇用確保につながった。	商工課	24
			現状値	15人 (平成26年度)	36人	—			
		新規就農者数	目標値	—	—	累計30人	県・市・JAによる支援体制を構築し、国・県の給付金制度の活用やH27に新規就農者研修施設「郡上トマトの学校」を設立して、計画的な新規就農者の確保・育成を実施。H26:5人→H28末:22人(17人の増)となり、県下でも上位の新規就農者数を確保できた。また、増加した新規就農者17人の内6人はUIターン者となっている。	農務水産課	24
			現状値	5人 (平成26年度)	17人	—			
	人農地プラン策定件数	目標値	—	—	累計25件	県・市・JAによる支援体制を構築し、連携して地区への説明会等を開催し、プラン策定地区は、H26:3件→H28末:13件(10件の増)となった。プランの策定と並行して、農地中間管理機構を通じた農地集積を行い、66.4haが集積された。	農務水産課	24	
		現状値	3件 (平成26年度)	10件	—				
	担い手農家(認定農業者)に おける法人(化)数	目標値	—	—	累計5法人	集落営農組織づくりに取り組み、新たに1件の法人化がなされた。(H27年10月に大和町下栗地区において地域農業者の出資による農事組合法人ファットリエ栗巣を設立)	農務水産課	24	
		現状値	2法人 (平成21～26年度)	1法人	—				
	事業者連携事業への加盟 事業者数	目標値	—	—	累計25件	冬季と夏季で労働者の同等のシェアリングが難しいこと、事業所間での考え方の相違がある等課題がわかり、その課題対策を講じる必要がある。	商工課	24	
		現状値	0件	0件	—				
	2) 地域産業の育成と活性化	創業支援制度利用件数	目標値	—	—	累計100件	郡上市創業支援事業計画では、創業に係る支援事業として創業指導を位置づけており、平成27年度48件、平成28年度73件の指導件数を制度利用件数に含めている。融資制度の利用については、平成28年度にチャレンジ支援資金融資1件のみであったが、今後は創業塾、金融機関等を通じて利用件数を伸ばしていきたい。	商工課	27
			現状値	0件 (平成26年度)	122件	—			
新商品開発件数		目標値	—	—	累計30件	例年、新商品の開発実績があり、郡上市の素材を生かした特産物や特産品が生まれている。	商工課	27	
		現状値	1件 (平成26年度)	4件	—				
市内宿泊客数		目標値	—	—	48万人	商品作りのための基礎データ収集や宿泊施設への支援、新たな商品作りを行い宿泊増を図る。	観光課	27	
		現状値	44万人 (平成26年度)	45万人	—				
新たな6次産業化取り組み件数		目標値	—	—	累計15件	国6次産業化計画認定事業者が増加し、市内では3事業者が計画認定を受けている。この他、6次産業化の種となる女性農業者団体への市単独補助制度をH28から開始した結果、6次産業化による新商品が開発されている。	農務水産課	27	
		現状値	2件 (平成26年度)	7件	—				
市内木材生産量		目標値	—	—	150,000m <sup>3</sup>	搬出間伐による搬出量の増加に加え、主伐により、木材生産量は増加している。 木材生産量実績 平成27年度 87,804m <sup>3</sup> → 平成28年度 103,348m <sup>3</sup>	林務課	27	
		現状値	70,000m <sup>3</sup> (平成26年度)	103,348m <sup>3</sup>	—				
事業者連携事業への加盟 事業者数(再掲)		目標値	—	—	累計25件	冬季と夏季で労働者の同等のシェアリングが難しいこと、事業所間での考え方の相違がある等課題がわかり、その課題対策を講じる必要がある。	商工課	27	
		現状値	0件	0件	—				

基本目標	方針	重要業績評価指標(KPI)	区分	平成27年度	平成29年度 (H28年度実績) ※累計はH27,28年度累計	平成31年度	成果・評価	担当課	総合戦略 記載頁
2. 郡上市への新しい人の流れをつくる	1) 若者の移住・定住の促進	地域おこし協力隊任期終了後の定着人数	目標値	—	—	累計15人	平成27年度に任期終了となった隊員3名全員が自ら起業する形で郡上市に定住した。平成28年度に退任した3名も引き続き郡上へ定住し、1名が起業した。	企画課 (地域振興担当)	29
			現状値	5人 (平成23～26年度)	6人	—			
		市の定住施策により定住した人数	目標値	—	—	累計100人	郡上市産材住宅建設等支援補助金や空き家等活用改修費補助金などの利用や、移住相談窓口を通じての移住者が平成27年度は56世帯73人、平成28年度は71世帯、110人であった。	企画課 (地域振興担当)	29
			現状値	18名 (平成26年度)	183名	—			
	2) 受入環境の整備	暮らし拝見ツアー参加者数	目標値	—	—	累計100人	郡上市交流移住推進協議会が実施するツアーで、郡上の暮らしを広く伝え移住に繋げるため、平成27年度は「里山の袋取材ツアー」として実施し、5名の参加者があった。平成28年度は雑誌「TURNS」とコラボした移住ツアーを3回実施、40名の参加者があった。	企画課 (地域振興担当)	30
			現状値	13人 (平成26年度)	45人	—			
		移住相談対応件数	目標値	—	—	累計1,000件	郡上市交流移住推進協議会が行う移住相談件数であり、平成27年度は窓口開設日が243日、うち休日は7日、市内、市外での移住相談会は18回で合計210組の相談を受けた。平成28年度は窓口開設日が244日、うち休日は15日、市内、市外での移住相談会は13回で合計149組の相談を受けた。	企画課 (地域振興担当)	30
			現状値	160件 (平成26年度)	359件	—			
		空き家改修件数	目標値	—	—	累計50件	空き家等の解消及び地域の活性化を図るため、空き家等を改修する者に対して経費の一部を補助するもので、平成27年度、平成28年度ともに2件の申請、交付を行った。移住を推進する上で空き家の登録は重要であるため、更なる推進を行う。	企画課 (地域振興担当)	30
			現状値	3件 (平成26年度)	4件	—			
	3) 定住移住のための情報発信	暮らし拝見ツアー参加者数 (再掲)	目標値	—	—	累計100人	郡上市交流移住推進協議会が実施するツアーで、郡上の暮らしを広く伝え移住に繋げるため、平成27年度は「里山の袋取材ツアー」として実施し、5名の参加者があった。平成28年度は雑誌「TURNS」とコラボした移住ツアーを3回実施、40名の参加者があった。	企画課 (地域振興担当)	31
			現状値	13人 (平成26年度)	45人	—			
移住相談対応件数(再掲)		目標値	—	—	累計50件	郡上市交流移住推進協議会が行う移住相談件数であり、平成27年度は窓口開設日が243日、うち休日は7日、市内、市外での移住相談会は18回で合計210組の相談を受けた。平成28年度は窓口開設日が244日、うち休日は15日、市内、市外での移住相談会は13回で合計149組の相談を受けた。	企画課 (地域振興担当)	31	
		現状値	160件 (平成26年度)	519件	—				
4) 定住移住のための起業支援	テレワーカー数	目標値	—	—	累計25人	サテライトオフィスとでのテレワーカーとしては平成27年度に2名、平成28年度に5名であったが、コワーキングスペースでのテレワーカー数は平成27年度に104名、平成28年度に108名の利用があった。	情報課	32	
		現状値	0人	7人	—				
	サテライトオフィス誘致数	目標値	—	—	累計5社	テレワークの拠点施設は平成29年3月のオープン時に5社の企業が入居してスタート。その後2社増えて平成29年10月現在で7社の企業が入居して事業を実施している。	情報課	32	
		現状値	0社	5社	—				
	地域おこし協力隊任期終了後の定着人数(再掲)	目標値	—	—	累計15人	平成27年度に任期終了となった隊員3名全員が自ら起業する形で郡上市に定住した。平成28年度に退任した3名も引き続き郡上へ定住し、1名が起業した。	企画課 (地域振興担当)	32	
		現状値	5人 (平成23～26年度)	6人	—				

基本目標	方針	重要業績評価指標(KPI)	区分	平成27年度	平成29年度 (H28年度実績) ※累計はH27,28年度累計	平成31年度	成果・評価	担当課	総合戦略 記載頁
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	1) 結婚活動の支援	婚活イベント開催事業を活用する団体数	目標値	—	—	累計20団体	民間企業及び団体が行う男女の健全な出会いの機会と交流の場を提供する取組みを支援することを目的として婚活イベント補助金を交付するもので、平成27年度は5団体、平成28年度は3団体に対して交付した。	企画課 (企画調整)	34
			現状値	0団体	8団体	—			
	マリアージュ郡上のプロフィール新規登録者数	目標値	—	—	累計200人	マリアージュ郡上への新規入会者はH27年度33人、H28年度21人あった。平成29年度より入会者数を更に増やす試みとして、結婚相談員6名の他に、各地域に婚活応援団というボランティア団体を組織して取り組んでいる。	企画課 (企画調整)	34	
		現状値	142人 (平成22年～26年度)	54人	—				
	2) 安心して子どもを産むための支援の充実	妊娠中(初産婦)、育児のことで不安であると感じない人の割合	目標値	—	—	50%	評価指標は5年に1回の調査項目のため29年度の現状値の把握はない。3～4か月健康診査受診者の問診項目「産後、退院してからの1ヶ月程度、助産師や保健師等から指導・ケアは十分に受けることが出来ましたか」で「はい」と答えた者の割合は、H27年度86.3%、H28年度84.6%であった。妊娠中・産後の不安を和らげられるよう、妊婦相談や産後の電話・訪問支援を継続していく。	健康課	35
			現状値	20% (平成26年度)	—	—			
	3) 子育て支援の充実	子育てしやすいまちであるという満足度	目標値	—	—	70%	平成30年度に実施予定の、郡上市子育て支援に関するアンケート調査(郡上市子ども・子育て支援事業計画)において、現状値を把握予定。	児童家庭課	36
			現状値	64% (平成25年度)	—	—			
		放課後児童クラブの開設数	目標値	—	—	10クラブ	平成27年度に高鷲北放課後児童クラブ、平成29年度に口明方放課後児童クラブを設立し、児童の健全育成や安全の確保を図ると共に、保護者が安心して働ける環境づくりを整えた。	児童家庭課	36
			現状値	7クラブ (平成27年度)	9クラブ	—			
		新たな奨学金制度の創設	目標値	—	—	1件	郡上市の奨学金貸付制度は、本来の修学者支援目的(貸付には所得制限有)に加え郡上市に定住いただくことも従たる目的として制度を改正整備したところであり、改正後2年目を迎えた。奨学金貸付申請件数及び郡上市に居住して奨学金返還免除を申請する者が徐々に増加している。	教育総務課	36
			現状値	0件	1件	—			
	4) 乳幼児期の親子の健康づくり	各乳幼児健診健診受診率	目標値	—	—	100%	健診未受診者は、未受診理由を把握し、翌健診実施日を紹介する等の支援をすすめている。100%に至っていないが、年度内の受診が出来なくても翌年度当初や、健診対象年齢を過ぎても受診を促す等の対応で、すこやかな成長を支援している。	健康課	38
			現状値	98% (平成26年度)	98.9%	—			
各乳幼児歯科検診受診率		目標値	—	—	100%	26年度より受診率は向上している。1歳6か月・3歳児の歯科検診は98%以上の受診率であるが、2歳児歯科検診が68.3%で全体の受診率より下回っているため、1歳6か月児健診時に歯科衛生士による受診勧奨を意識して実施している。	健康課	38	
		現状値	66% (平成26年度)	88.7%	—				
5) 次代の郡上市を担う人材の育成	児童一人あたり年間図書貸出冊数	目標値	—	—	27冊/年	各校への図書館司書配置により、図書貸し出しが大幅に伸びた。これからは、貸出図書の冊数ではなく、児童生徒にとってより良い本の提供し人材の育成に繋げる。	学校教育課	39	
		現状値	26.5冊/年 (平成26年度)	29.4冊/年	—				
	地域行事に参加した児童生徒の割合	目標値	—	—	小学6年生 65% 中学3年生 30%	前年度より、若干参加者が増えている。地域行事に参加し、地域の方々との交流を通じて、地域の歴史や活動を継承してもらうことが必要である。また、ただ参加するのではなく、運営に携わり地域に貢献することをも育成しなければならない。	学校教育課	39	
		現状値	小学6年生 59% 中学生3年生 24% (平成27年度)	小学校6年生 59% 中学生3年生 26%	—				
6) 子育てと仕事の両立支援	積極的に子育てに参加している夫の割合	目標値	—	—	45%	平成30年度に実施予定の、郡上市子育て支援に関するアンケート調査(郡上市子ども・子育て支援事業計画)において、現状値を把握予定。	児童家庭課	40	
		現状値	37% (平成25年度)	—	—				
7) スポーツを通じた青少年の健全	スポーツイベント参加者数	目標値	—	—	5,000人	イベント参加者数が増加している。気軽に参加できるイベントの実施等、機会の提供数の増加も図る必要がある。	スポーツ振興課	41	
		現状値	4,503人 (平成26年度)	5,651人	—				
	少年スポーツ団体等への加入率	目標値	—	—	68%	加入率も僅かではあるが増加している。少子化により、チームの編成が難しい種目もあり、さらなる加入率の向上を図る必要がある。	スポーツ振興課	41	
		現状値	65% (平成26年度)	66%	—				

基本目標	方針	重要業績評価指標(KPI)	区分	平成27年度	平成29年度 (H28年度実績) ※累計はH27,28年度累計	平成31年度	成果・評価	担当課	総合戦略 記載頁
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	1) 生活利便、経済活性化のための基盤整備 (アクセス・ライフライン)	市内公共交通(バス)利用者数	目標値	—	—	24万人	公共交通(バス)の利用者数は、高校生の減少などに伴い、減少傾向にある。平成29年度に「郡上市地域公共交通網形成計画」を策定し、様々な施策展開のもと、将来に渡って持続できる公共交通を目指していきたい。その中で、スクールバスから公共交通への転換などを行い、利用者数を維持していく。	企画課 (企画調整)	43
			現状値	23万人 (平成26年度)	23万人	—			
	2) 災害に強いまちづくりのための整備強化 【防災】	自主防災会育成研修会への自主防災会団体参加率	目標値	—	—	80%	最近の傾向として、市全体の参加率は50%以上であるが、地域別では、北部が80%以上であるのに対し、南部は40%台後半となっている。八幡町の場合、自治会が地区会に細分化され、南部地域全体の団体数が北部地域の3.5倍以上ということもあるが、目標値の達成に向け、今後は特に南部地域の参加率の向上に努めたい。	総務課	44
			現状値	54% (平成27年度)	56%	—			
		防災士の資格取得者数	目標値	—	—	累計165人	市の補助制度を活用して防災士資格を取得される方が増加しており(H27:5人、H28:12人)、順調に推移している。一自主防災会に1人以上の防災士が存在するよう、今後もPRの強化や補助制度の継続を図っていく。	総務課	44
			現状値	85人 (平成26年度)	17人	—			
	3) 地域活性化と魅力ある住環境の整備 【まちづくり】	魅力ある地域づくり推進事業申請団体数	目標値	—	—	累計120団体	自治会、市民活動団体等が行う地域づくり活動の支援を目的として補助金を交付、平成27年度は16団体、平成28年度は15団体へ交付した。平成29年度からは「Good郡上プロジェクト」部門を新たに設け、市内中高生の提案を実現するためのサポートも行う。	企画課 (地域振興担当)	45
			現状値	25団体 (平成26年度)	31団体	—			
	4) 健康づくり・生きがいつくりの推進	特定健診受診率	目標値	—	—	65%	特定健診受診率は平成28年度法定報告値で57.5%と平成27年度の57.1%から0.4ポイント増加している。県受診率37.6%を大きく上回っており、県内4位となっている。地域特性や受診方法に対応した受診啓発活動が受診率向上につながっている。	健康課	46
			現状値	56% (平成25年度)	57.5%	—			
		特定保健指導率	目標値	—	—	60%	特定保健指導率は平成28年度法定報告値で52.5%と平成27年度の45.8%から6.7ポイント増加している。県内では17位となっており、県指導率37.5%を大きく上回っている。	健康課	46
			現状値	46% (平成25年度)	52.5%	—			
		シルバー人材センター会員数	目標値	—	—	500人	シルバー人材センター会員数は平成18年度末の625人をピークに、減少傾向にあったが、近年は回復基調となっている。会員の活躍の場として、民間企業等への人材派遣事業を拡大している。	高齢福祉課	46
			現状値	456人 (平成26年度)	472人	—			
	5) 支え合い助け合いの推進	認知症サポーター養成講座修了者数	目標値	—	—	累計1,432人	認知症サポーター養成講座においては、児童・生徒の受講促進に力を入れており、累計受講者3,300人中474人が児童・生徒である。今後は民間企業を含む職場単位でのサポーター養成を重点に進めていく予定。(年度別実績:H27 320人 H28 412人)	高齢福祉課	47
			現状値	2,568人 (平成26年度)	732人	—			
		高齢者生活支援サポーター数	目標値	—	—	150人	高齢者生活支援サポーター養成講座は平成27年度に開始し、平成28年度末までの2年間で51人が受講した。平成29年度は養成講座を引き続き実施するとともに、修了者を対象としてフォローアップ講座を行い、助け合い活動への参加を支援している。(年度別実績:H27 30人 H28 21人)	高齢福祉課	47
			現状値	0人	51人	—			
6) 地域医療の確保	市内医療機関の常勤医師数	目標値	—	—	67人	県の隔年調査によるH28.12.31時点の統計データ「中濃地域の公衆衛生2018版」が、H30.2中旬以降に公表されるため、その現状値を確認の予定。	市民病院	48	
		現状値	67人 (平成26年度)	—	—				